



2021年12月28日

各位

会社名 株式会社ランドコンピュータ
代表者名 代表取締役社長 福島 嘉章
(コード番号: 3924 東証市場第一部)
問合せ先 取締役経営管理本部長 奥野 文俊
(TEL) 03 (5232) 3046

新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2022年4月に予定される株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、本日プライム市場を選択する申請書を提出いたしました。当社は、移行基準日時点（2021年6月30日）において、当該市場の上場維持基準を充たしていないことから、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたのでお知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社は、2021年7月9日付で東京証券取引所より、新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定の結果、「流通株式時価総額」及び「1日平均売買代金」については基準を充たしておりません。しかしながら、当社が今後中長期的に企業価値の向上を目指すためには、プライム市場の上場維持が必須であるとの考えから、当社は2024年3月期までに上場維持基準を充たすために各種取組を進めてまいります。

項目	プライム市場基準	当社の数値	判定
株主数	800人以上	4,142人	○
流通株式数	20,000単位以上	42,603単位	○
流通株式時価総額	100億円以上	46.8億円	×
流通株式比率	35%以上	71.1%	○
1日平均売買代金	20,000千円以上	4,032千円	×

※当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等を基に算出を行ったものです。

2. 上場維持基準の適合に向けた課題及び取組内容

プライム市場上場維持基準の適合に向けた課題及び取組内容につきましては、添付の「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」及び「中期経営計画（VISION 2023）」に記載のとおりです。

以上



新市場区分の上場維持基準の 適合に向けた計画書

2021年12月28日
株式会社 **ランドコンピュータ**
(東証一部：3924)

移行基準日におけるプライム市場上場維持基準の 適合状況及び計画期間

	プライム市場基準	2021年6月30日時点 (2021年7月9日付け東証通知)	判定
株主数	800人以上	4,142人	○
流通株式数	20,000単位以上	42,603単位	○
流通株式時価総額	100億円以上	46.8億円	×
流通株式比率	35%以上	71.1%(※)	○
1日平均売買代金	20,000千円以上	4,032千円	×

(※) 2021年9月末時点で当社が把握している上場会社役員の配偶者及び二親等内の血族の所有分等を流通株式から除いた当社試算の株式流通比率は63.5%

● 上場維持基準を満たすための計画期間

上場維持基準の未適合の項目について、計画期間を「中期経営計画(2021年度～2023年度)(VISION 2023)」の最終年度となる「2024年3月期末」までとし、本計画書に記載する各種取り組みを進めてまいります。

● 時価総額向上に向けた現状の課題及び取り組み

課題	企業価値の向上と株式市場で適正な評価を得る
取り組み	中期経営計画（VISION 2023）の推進による業績向上 株主還元施策の実行 コーポレートガバナンスの充実

● 売買代金向上に向けた現状の課題及び取り組み

課題	需要の改善と認知度の向上
取り組み	創業家保有株式の一部放出、株式分割等による流動性向上 IR強化による市場認知度の向上

① 中期経営計画（VISION2023）の推進による業績向上

当社の属する情報サービス産業は変化が激しく、また不確定要素が多いため、当社は今まで中期経営計画を公表しておりませんでした。今後は、コーポレートガバナンスコード充実を目指し、中期経営計画について開示いたします。同計画において、毎年ローリング方式にて計画の精査・見直し、必要な施策等を検討し、計画を着実に進めるとともに、業績の向上、企業価値の継続的な向上を目指してまいります。

② 株主還元施策の実行

既に2021年11月12日に公表しているように、株主還元施策の見直しを行い、配当性向の基本方針を30%以上から40%以上へ変更を実施いたしました。

当社は株主様への利益還元を経営の重要課題の一つと位置付けており、今後も株主利益還元策及び株主優待制度の検討を行い、当社株式の投資の魅力を高めてまいります。

③ コーポレートガバナンスの充実

プライム市場に要求される水準を充たす企業を目指し、現在実施していない「議決権行使電子化」「中期経営計画の開示」については、2022年6月までに実施し、「英文開示」「取締役会の多様性」「社外取締役1/3以上」等について、2024年3月期までの実施に取り組んでまいります。

① 創業家保有株式の一部放出、株式分割等による流動性向上

流動性向上に向けて、既に2021年9月30日を基準日とした株式分割を実施しております。今後は更なる流動性向上を目的に、創業家保有株式の一部放出を2024年3月末までに行うよう協議しております。また中期経営計画の推進による株価向上に伴う株式分割の実施を検討してまいります。

② IR強化による市場認知度の向上

IR強化については、2020年11月より決算説明会動画を当社HP上に開示し、機関投資家様及び個人投資家様が視聴できるよう変更しております。また決算短信、アナリストレポートの英文開示を2021年度より行っております。

今後は情報発信の充実による認知度向上及び当社事業への理解度促進を図ってまいります。

● IR活動計画

決算短信英文	四半期毎
決算説明会動画・資料開示	半期毎
アナリストレポート（英文開示）	半期毎
個人投資家説明会	年3回以上
機関投資家1on1ミーティング	随時
中期経営計画	進捗報告年1回（6月）

1. PERを用いた時価総額を算定

- 当社が属する情報通信（東証1部）の平均PER統計値は26.0倍（※）であり、保守的に想定PERを22倍とする
- 2024年3月期税引後当期純利益8.3億円を基にPERを乗じて時価総額を推計

$$\text{時価総額} \quad 22\text{倍} \times 8.3\text{億円} = 182.6\text{億円}$$

※参考）情報通信（東証1部）：日本取引所グループ その他統計資料規模別・業種別PER・PBRから引用

2. 株式流通比率を用い株式流通時価総額を算定

- 当社試算の流通株式数は5,704,876株、株式流通比率は63.5%

$$\text{時価総額} \quad 182.6\text{億円} \times 63.5\% = 115.9\text{億円}$$

以上、中期経営計画（VISION2023）を達成することにより、流通株式時価総額100億円充足は実現可能と考えております。

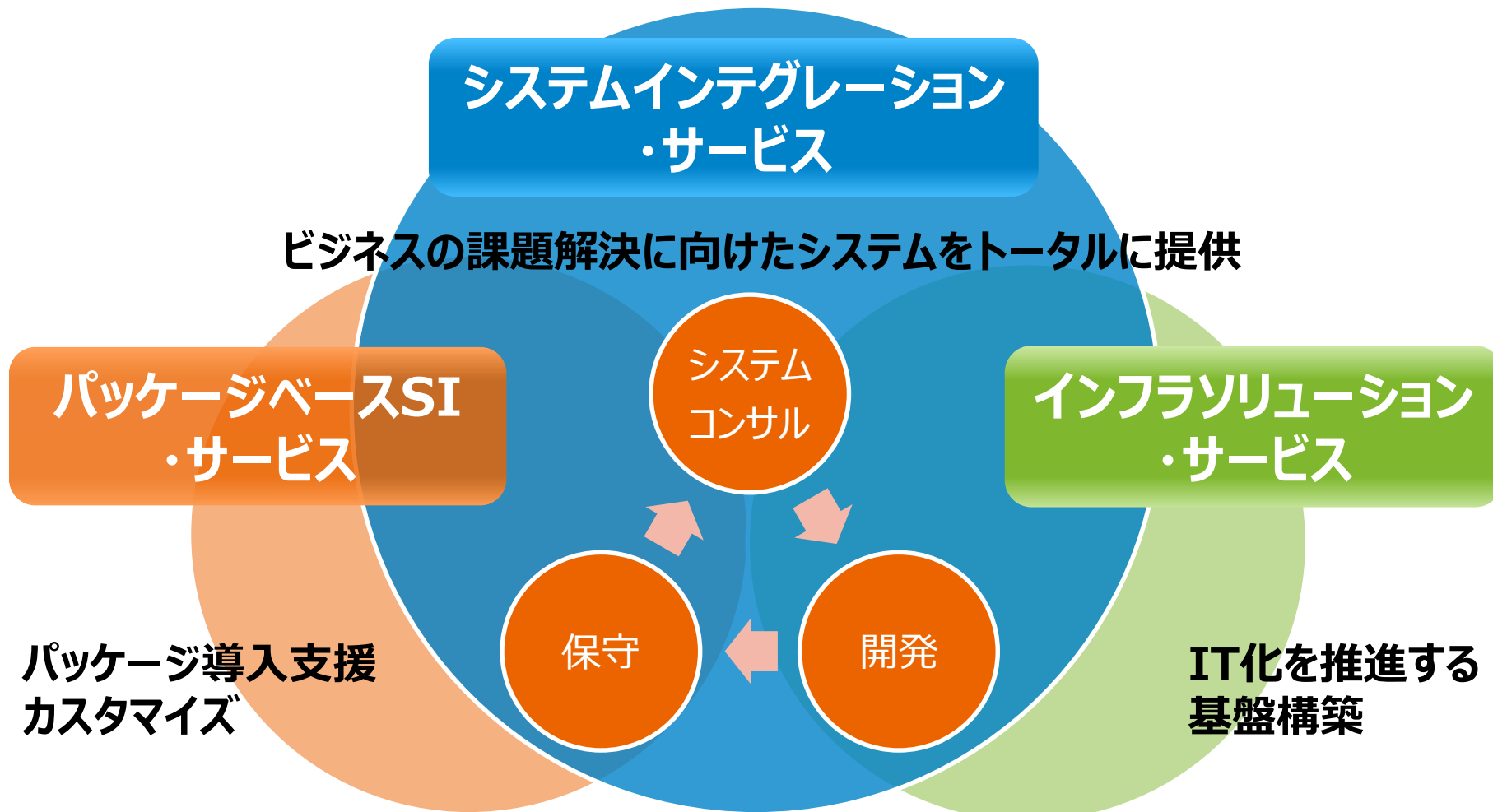


ランドコンピュータグループ 中期経営計画 (VISION 2023)

2021年12月28日
株式会社 **ランドコンピュータ**
(東証一部：3924)

事業の特徴：ワンストップサービスの提供

お客様のビジネスの「スピード」に対応し、
情報システムの「品質」と「安全性」を高めることを使命として、
ワンストップかつ業種横断的な施策でお客様のビジネスに「解決策」をもたらします。

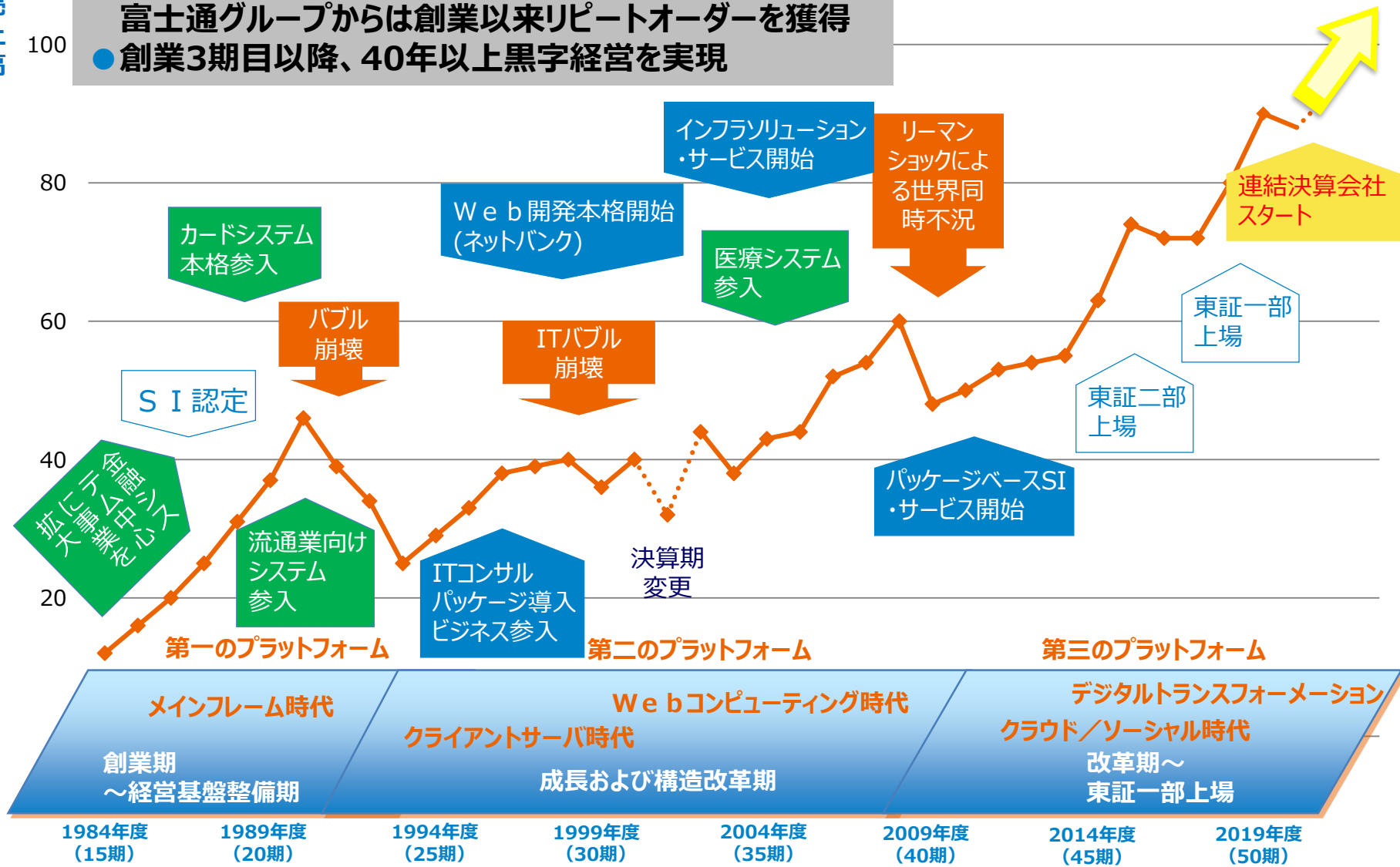


ランドコンピュータの歩み

単位：億円

売上高

- 創業当初、金融の銀行系システムを中心にスタートし、富士通グループからは創業以来リピートオーダーを獲得
- 創業3期目以降、40年以上黒字経営を実現



1

50年にわたる安定した経営実績

2

**技術力、業務知識、
品質に裏付けされた強固な顧客基盤**

3

**創業母体が学校法人だからこそその充実の教育
体制で、人材育成に対する積極的投資**

- **IT系資格：1403人、業務系資格：285人、平均3.14資格／人**

4

**ビジネスパートナー（協力会社）
との長期的協力関係構築**

当社の強み 顧客基盤

当社は長年の実績と技術力が評価され、
顧客・協業先・協力会社と強固なパートナーシップを有しております。

1、技術力、業務知識、品質に裏付けされた強固な顧客基盤

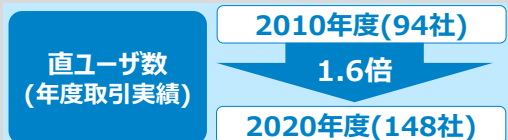
●主要取引先

・メーカー系 ・SIer

富士通グループ、日立グループ、NTTグループ、
TISインテックグループ、日鉄ソリューションズ等

・直販

三菱総研DCS、三井住友トラスト・システム&サービス
出光興産、野村ホールディングス等



2、有力パッケージベンダーとの戦略協業

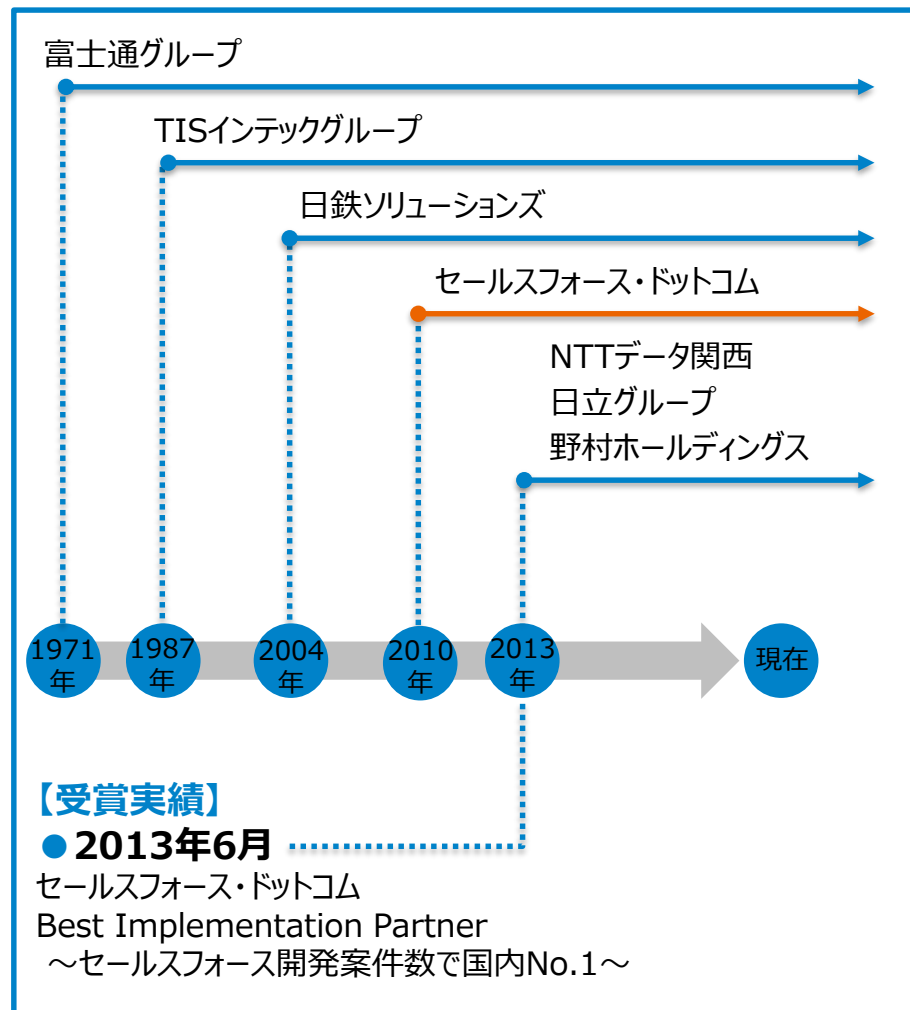
Salesforce、SuperStream、Microsoft、AWS等

3、ビジネスパートナー（協力会社）

との長期的協力関係構築

●コアパートナー制度・特定技術に強いパートナーとの提携

- ・富士通 コアパートナー
- ・日立ソリューションズエクセルパートナー
- ・Salesforce.com コンサルティングパートナー
アプリケーションパートナー
- ・SuperStream-NX ソリューションパートナー
- ・Microsoft Partner Gold Data Analytics



当社の強み 優秀な技術者集団



- 創業母体が学校法人だからこそその充実の教育体制で、人材育成に対する積極的投資
- IT系のみならず、金融、産業・流通、医療など、顧客業務の理解を深める業務系資格を取得する技術者集団
- 顧客目線のサービスを提供することが顧客満足度の向上につながり、基盤事業のリピートオーダーを安定継続的に確保

(IT系資格：延べ1,403人、業務系資格：延べ285人、平均3.14資格/人)

代表例	
金融	<ul style="list-style-type: none">● 銀行業務検定 (26人)● 金融業務能力検定 (19人)● 外務員 (10人)
産業・流通	<ul style="list-style-type: none">● 販売士 (27人)
医療	<ul style="list-style-type: none">● 診療情報管理士 (8人)● 医療情報技師 (21人)
業種共通	<ul style="list-style-type: none">● PMP (40人)● 簿記 (62人)
IT系	<ul style="list-style-type: none">● 情報処理技術者 (延べ417人)● ベンダー資格 (Salesforce認定資格延べ112人、 他 Microsoft、Oracle、Python)

【業務系資格】
顧客と同じ目線で
システムソリューション
サービスを提供

市場動向

国内IT市場

2020年度に一時停滞するが、以降は緩やかに成長。

国内DX市場

新型コロナウイルス感染対策を契機に今後は急成長。

人材

DX人材不足の解消に向け、リスキリングが活発化。



**DX人材の育成と並行して、
従来型開発とDX型開発の使い分けが重要となる。**

分類	特長
従来型 開発	大量のデータを正確かつ効率的に記録、蓄積、活用するシステム。 ●品質重視：スクラッチ開発、ウォーターフォール開発 ●コスト重視：パッケージ、クラウド、共同化
DX型 開発	短時間でサービスの提供と改善を繰り返すシステム。 ●スピード重視：アジャイル開発、ローコード開発、クラウド

中期経営計画（VISION2023）数値計画

	2021年度 22/3期 当期計画	2022年度 23/3期 計画	2023年度 24/3期 計画
売上高	9,630	10,700	12,300
営業利益	755	950	1,250
経常利益	760	960	1,270
親会社株主に帰属 する当期純利益	500	620	830

■ **積極的なM&Aの推進**

■ **業務提携先との更なる連携強化**

■ **DXビジネス推進**

クラウド、パッケージベースSI

ローコード開発、アジャイル開発

■ **直ユーザー取引拡大と得意分野の強化**

■ **既存SI分野の更なる売上拡大**

● 積極的なM&Aの推進

当社と相乗効果を生む事業を有する企業に資本参加し、グループ全体の事業規模を拡大

● 業務提携先との更なる連携強化

優れたIT商材や独自技術を有する企業との連携を深め、ソリューション対応領域を拡大

● DXビジネス推進①

～ クラウド、パッケージベースSI ～

- ① Salesforce関連ビジネスの全社展開
- ② インフラソリューション・サービス分野における
AWS等のクラウドビジネスの強化
- ③ SAP、会計・人事給与等の
パッケージベースSIサービス比率の向上

● DXビジネス推進②

～ ローコード開発、アジャイル開発 ～

当社の強みである、技術力、業務知識、高品質なシステム開発力を活かし、

- ① **適材適所**でのアジャイル/ローコード開発推進
- ② **「ランドコンピュータ アジャイル開発標準」**の確立
- ③ **アジャイル人材とローコード人材**の早期育成

● 直ユーザー取引拡大と得意分野の強化

① 直ユーザー取引の拡大

顧客基盤を活かした**リピートオーダー**獲得と、
パッケージベースSIサービスを武器に**新規顧客**
開拓を推進

② 得意分野の更なる強化

ノウハウを保有する分野と**新規戦略分野**に
注力し、生産性の高い開発を推進

● 既存SI分野の更なる売上拡大

- ① 金融分野の領域拡大（保険・証券等）
- ② デジタル庁、中央官庁案件等の
公共分野の領域拡大
- ③ 大手ベンダー系とのアライアンス強化
- ④ 既存システムのモダナイゼーション推進

中期経営計画 (VISION2023) サービスライン別売上高



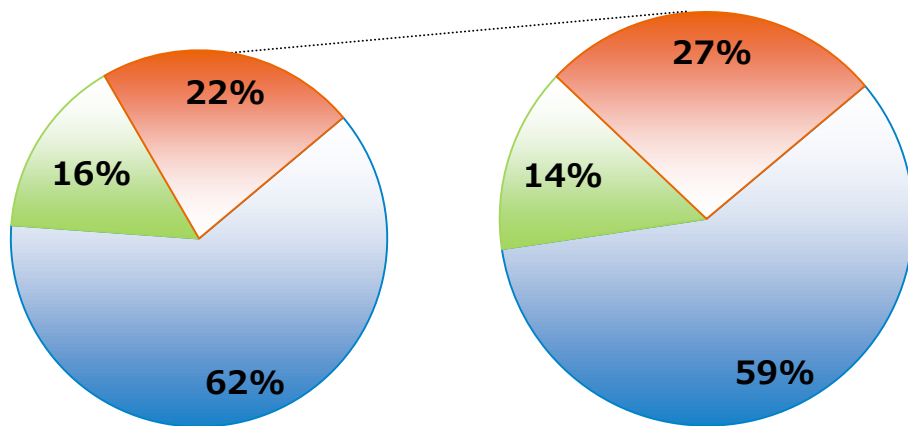
単位：百万円

サービスライン	21/03期 単体実績	22/03期 連結計画	23/03期 連結計画	24/03期 連結計画	平均 成長率
システムインテグレーション	5,524	5,715	6,316	7,229	9.4%
インフラソリューション	1,375	1,515	1,620	1,774	8.9%
パッケージベースS I	1,976	2,400	2,764	3,297	18.6%
売上高 計	8,877	9,630	10,700	12,300	11.5%

■ サービスライン別売上高構成比

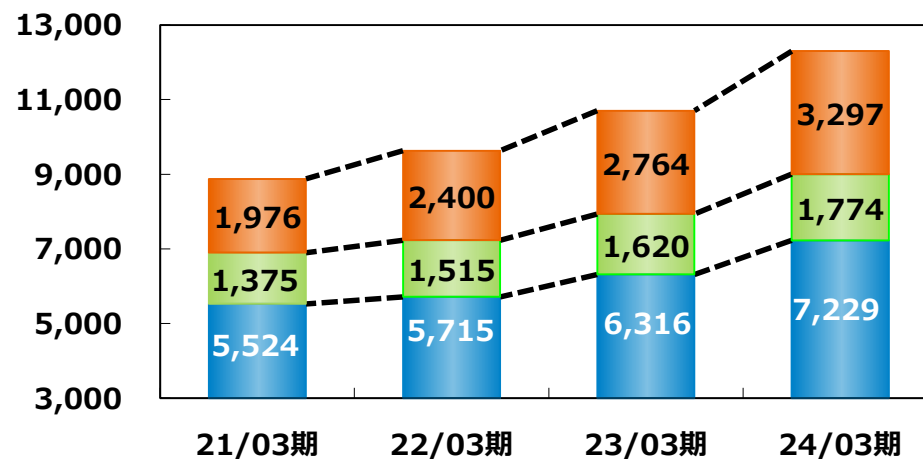
(21/03期 単体実績)

(24/03期 連結計画)



■ サービスライン別売上高推移

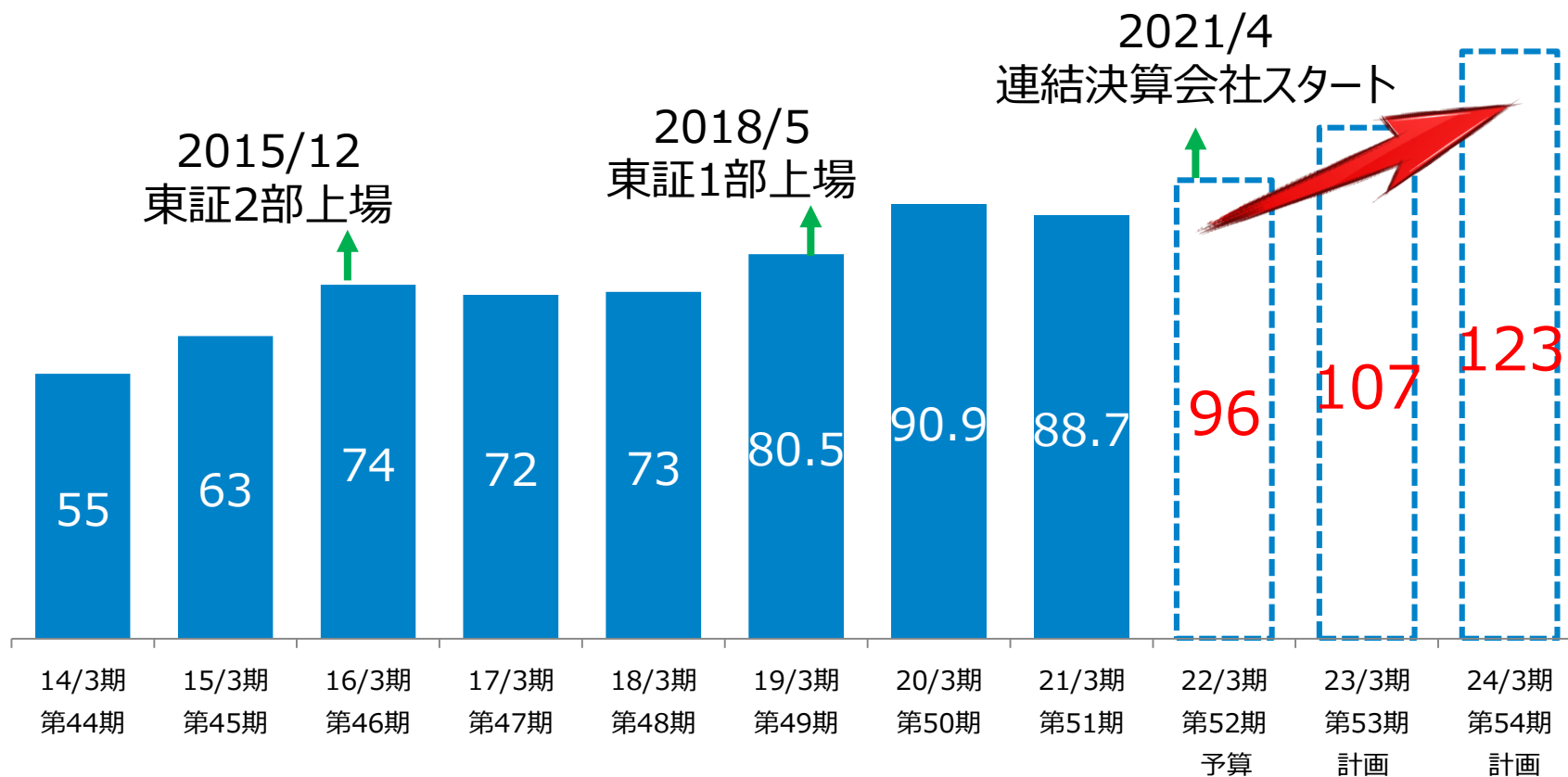
■ システムインテグレーション ■ インフラソリューション ■ パッケージベースS I



※2022年3月期より、株式会社インフリーを取得し子会社化したため連結の範囲に含めております。当説明資料において2021年3月期の決算数値は参考情報として単体の数値を記載しております。

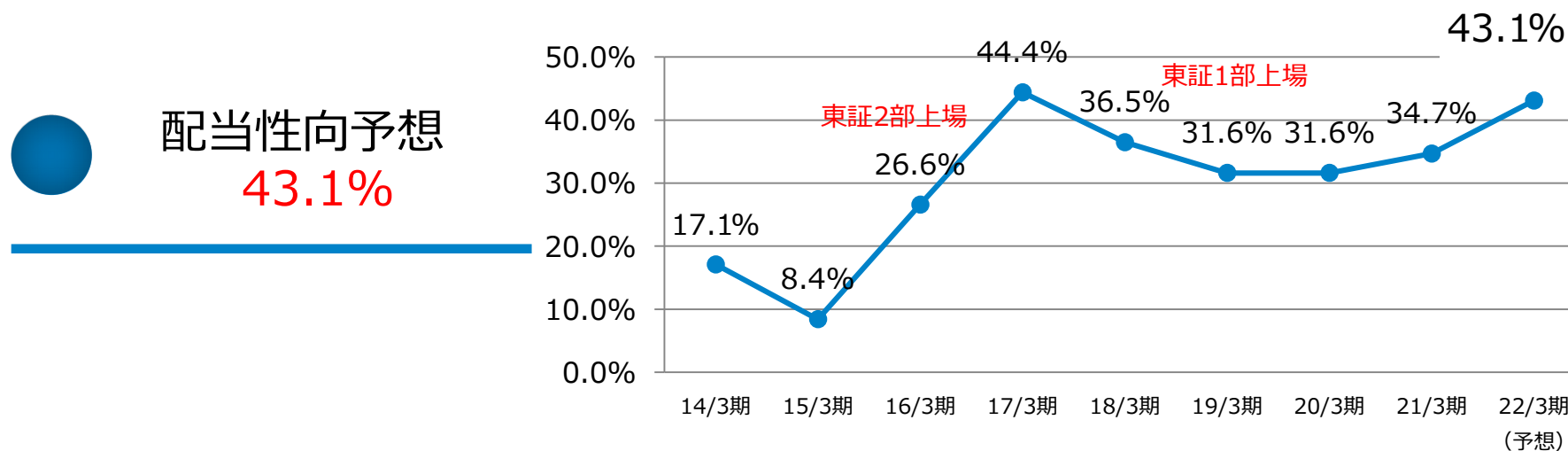
売上高

VISION 2023



- ・配当方針の変更を行いました。
配当性向30%以上の利益還元する方針を、
連結配当性向40%以上を利益還元する方針に変更

※業績動向に伴い、配当金、配当性向の見直しを実施



注) 当社は、2015年8月3日に1株を5株の割合で、2016年9月1日に1株を3株の割合で、2021年10月1日に1株を1.5株の割合で株式分割を行っております。配当については当該株式分割を考慮して算定しております。

ランドコンピュータのサステナビリティについて







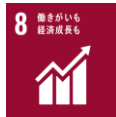





R&D
ランドコンピュータの
サステナビリティ

R&D COMPUTER's SUSTAINABILITY

2030年のSDGsゴールに向け

新たな事業創出に取り組んでまいります。

わたしたちの つの重点目標

<h3>01 教育・技術革新</h3>	<p>優秀な技術者集団による最適なシステムソリューションの提供を通じて、持続可能な社会インフラの実現に貢献します。</p>	  
<h3>02 働きがい・平等</h3>	<p>すべての人の人権と一人ひとりの多様性を尊重し、個々の能力が最大限発揮できる環境の確立を目指します。</p>	  
<h3>03 つくる責任</h3>	<p>高品質で安心・安全なサービスの提供を通じて、ステークホルダーから信頼される企業を目指します。</p>	
<h3>04 パートナーシップ</h3>	<p>ビジネスパートナーとの長期協力関係の構築を通じてSDGs目標達成に貢献してまいります。</p>	
<h3>05 健康・平等</h3>	<p>社員一人ひとりが心身ともに健康で明るく生き生きと働くことができる職場づくりを目指します。</p>	 

社会課題とランドコンピュータの事業

「私たちは解決策を創造しつづけるあなたの IT パートナーです」

社会の潮流と課題

- ▶ 気候変動
- ▶ エネルギー資源 / 水問題
- ▶ グローバル化
- ▶ 労働人口の減少
- ▶ デジタル化の加速
- ▶ サイバーセキュリティ
- ▶ ワークライフバランス
- ▶ ダイバーシティ

経営資源

財務資本

自己資本比率: **68.7%**[※]
 ROE: **11.4%**[※]
※2021年3月期

50年にわたる
安定した経営実績

知的資本

- ・技術力
- ・業務知識

人的資本

人財育成に対する
積極的投資

社会関係資本

ビジネスパートナーとの
長期的協力関係構築

企業理念

「顧客価値の創造と顧客満足度の追求を図り
企業価値を高める」

システムインテグレーション
・サービス

企画立案・
コンサルティング

システム運用
・保守

パッケージ
ベース SI &
サービス

システム構築

インフラ
ソリューション
・サービス

人材育成

品質マネジメント

ガバナンス・リスクマネジメント

ESG マネジメント

社会的価値の創出

- ▶ 社会全体のデジタル化へのサポート (DX)
- ▶ ICTによる産業の効率化・高度化
- ▶ 医療分野におけるICTの活用
- ▶ CO2の削減
- ▶ 多様性への対応
- ▶ 安心して利用できる金融サービス
- ▶ レジリエントな社会インフラの構築
- ▶ 環境保全
- ▶ 就業環境の改善
- ▶ 女性の活躍推進

経済的価値の創出

中長期経営計画 Attack100	売上高 100 億円 営業利益 10%以上
--------------------------	--------------------------

貢献する SDGs

3

4

5

8

9

10

11

12

17



Support your IT challenge

株式会社 ランドコンピュータ

<https://www.rand.co.jp/>

本資料には、当社及び当社のグループ会社（以下当社と併せて「当社グループ」という）の財務状況、経営成績、事業、株式価値、戦略などに関する将来予想の記述が含まれております。かかる将来予想は、現在入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものであり、リスクや不確定要素を含んでおります。そのため、実際の財務状況、経営成績、事業、株式価値、戦略などが、かかる将来予想と異なる可能性がございます。